

爪白癬が、吸湿軟化に与える影響

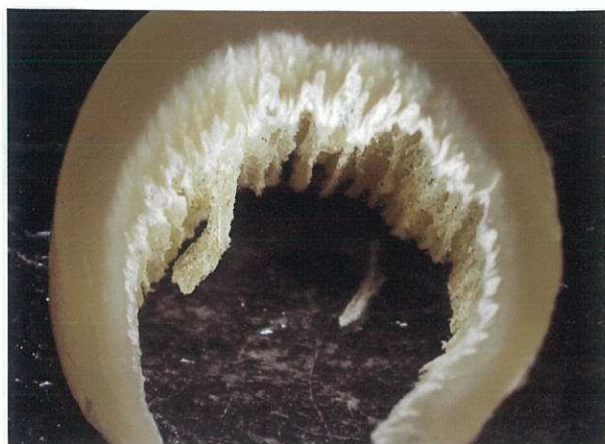
調査の目的

爪白癬
の傾向

1. 極端な変形の方の、大半は、爪白癬であった
2. 爪白癬の方は、長めに温浴しても、爪が軟化しない

1. 2の原因追求

爪白癬で「チューブ状に変化した爪」の資料写真



1の原因の推察



■白癬菌は、爪の主成分であるケラチンを栄養源に、湿気の多い爪の裏側で増殖する。



■菌増殖により、爪本来の組織が破壊され、密度が増す(硬化)事で、**爪裏側の収縮が起こり、「巻き」が発生**すると推察される。

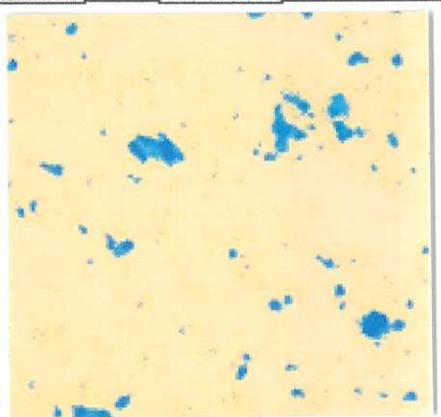
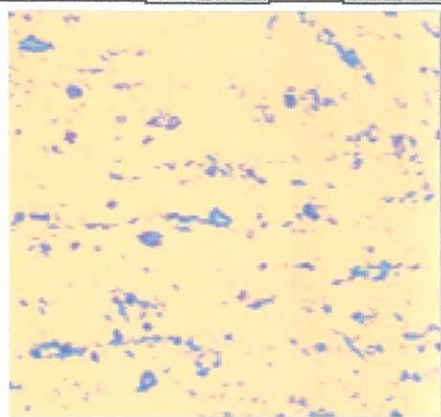
2の原因

■吸湿時の画像対比で、正常爪の組織では、「**線をほぐすように、水分が細かく入り込める組織**」であるのに対し爪白癬の方は、乾燥時に比べ、点在する水分の量は増えてはいるものの、白癬菌の影響で「**水分が、浸透しにくい、高密度な組織**」に変化していることが確認できた。

正常爪

乾燥時

爪白癬



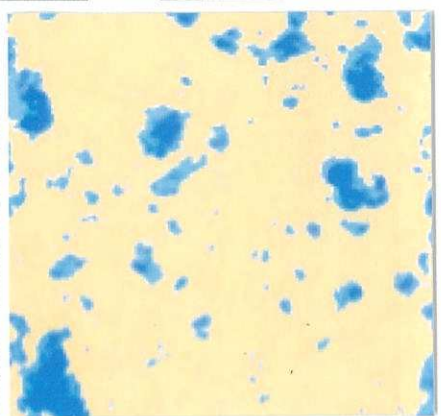
乾燥時と吸湿時での撮影個所は同一では無く、若干ズレがある

正常爪の水分は、細かく、高密度に点在しているのに対し、爪白癬の水分は、大きめで距離を開けて点在している

正常爪

吸湿時

爪白癬



爪組織のわずかなスキ間にも、水分がくまなく浸透し、柔軟性に富む組織である事が確認できる

僅かな外圧で変化する

点在する水分量は増量したが、水分同士は分離し、組織をほぐす状態には程遠く、柔軟性に乏しい組織である事が、一目で解る。

外圧を加えても変化しない